

第 7 回神奈川県住宅政策懇話会での議論要旨について

第 7 回 令和 5 年 11 月 21 日 (火) 10:00~12:00 県庁新庁舎 12 階局大会議室 (WEB 会議併用)

主な議題・論点

○ 神奈川県県営住宅 健康団地推進計画の改定について

を主な議題として、ご意見をいただきました。

委員から頂いた主なご意見

○ 神奈川県県営住宅 健康団地推進計画の改定について

<改定素案：急速な技術革新への対応と D X の推進>

- ・ D X が進展し、 A I 等を活用とあるが、 A I が県営団地とどのように繋がるのかイメージしにくい。

改定案
に反映

<改定素案：必要戸数と住宅セーフティネット機能の更なる強化>

- ・ 高校を卒業した 18 歳くらいの年齢の方が生活に困窮する状況が見受けられるため、若者への住宅の提供を計画に記載できると N P O や若者にも伝わってよいのではないか。

- ・ 即応住宅では緊急対応性を求められるが、火事や災害などで緊急に家が必要な場合に連帯保証人を要しないことを計画に記載し、入居する際の障壁が低いことを示せるとよい。

改定案
に反映

<改定素案： D X の推進、自然災害への備え、脱炭素化の取組>

- ・ 10 年間の計画でどこまで実施するのかを考えると、検討ではなく推進することが必要ではないか。

改定案
に反映

<改定素案：脱炭素化の取組>

- ・ 断熱性能の向上など省エネルギーへの対応が重要ではないか。

改定案
に反映

<改定素案：地域の実情に応じた拠点等の整備／コミュニティ活動の展開>

- ・ 地域共生社会の推進に向けて、厚生労働省が重層的な支援体制の確保のために「重層的支援体制整備事業」を創設し、県内市町においても当該事業が実施されている。地域のコミュニティづくりなど県営住宅においても実施できる内容があれば、計画に盛り込んでいけるとよい。

<改定素案：見守りサポートへの支援>

- ・ 異常を察知して通報する仕組みの導入の検討は、介護職員の減少や身寄りのない高齢者が増加している中で有効な取組ではないか。

改定案
に反映

- ・ 県営住宅には外部利用者用の駐車場がないことから、親族が立ち寄りたり、泊まったりすることができないとの話を聞いたことがある。見守りサポートに向けて、駐車場の確保も重要ではないか。

＜改定素案：様々な主体との連携＞

- すべての団地を健康団地にするためのサポート機能を充実させて欲しい。

改定案
に反映

- 健康団地の取組を進めるためには、市町村の福祉部局との連携が重要になることを計画に示せるとよい。

改定案
に反映

＜改定素案：全体＞

- 健康団地の取組はすべての団地で進めていくべきであるため、健康団地の取組の状況が改定計画の参考資料やインターネットなどで示して取組の見える化ができるとよい。
- 県営住宅が地域の住宅セーフティネットの総合相談窓口として有効に機能して欲しい。また、福祉とも連携して進められるとよい。
- 公営住宅ストックの柔軟な運用の方向性が良く出ていると感じている。公営住宅の柔軟な運用を通して、周辺地域も健康にしていくというコンセプトが出てきたと感じている。このことを改定計画の諸元などに盛り込めるとよい。

改定案
に反映